

## ベビーゲート等の種類と安全対策

- ベビーゲート等を、(1) 固定方法、(2) 開閉部の有無、(3) 開閉部の形状の3つの観点から見たところ、(1) つっぱり式、ねじどめ式、据え置き式、(2) ベビーゲート、ベビーフェンス、(3) 扉、巻き取り、伸縮タイプに分類される。
- 事故防止のための安全対策として、多重ロック機構、オートクローズ機能、つまずき防止スロープ等が備わっている製品もある。
- 安全対策に関わる表示には、ベビーゲート等の設置場所や設置方法について、また設置後の使用方法について注意喚起するものがある。中には、使用上の注意表示を製品の両面に行うなど、他の製品にはない工夫を加えた製品もある。

### 1 製品の種類

#### (1) 固定方法

ベビーゲート等は固定方法で、大きく3種類に分類される(図1)。①ボルトなどを伸長し、壁に突っ張り固定する「つっぱり式」、②家の柱などにねじで固定する「ねじどめ式」、③固定しない「据え置き式」<sup>1</sup>である。消費者はそれぞれの家庭内の環境に応じていずれかのベビーゲート等を選択し、設置する。

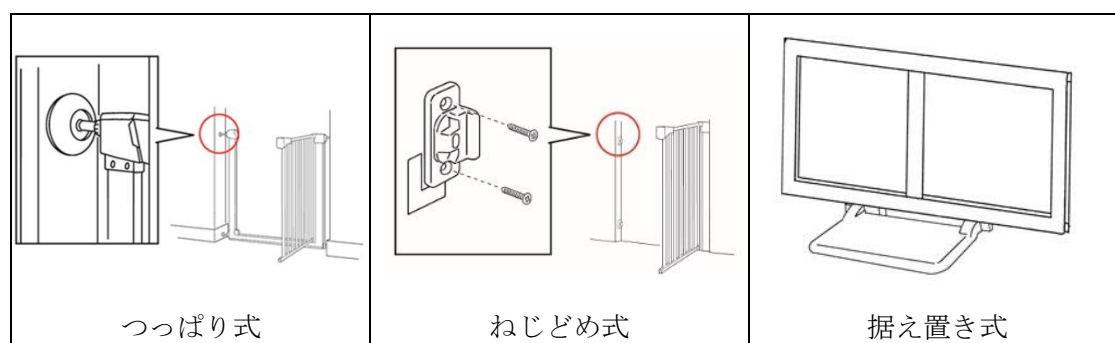


図1 ベビーゲート等の固定方法

<sup>1</sup> 本資料では、ベビーサークル及び据え置き式のベビーゲートやベビーフェンスは対象外とする。

## (2) 開閉できる構造の有無

ベビーゲート等の構造は、開閉できるかどうかで2種類に分類される(図2)。①開閉部を有し、人が通れる「ベビーゲート」と、②開閉部を持たず、またいで通る「ベビーフェンス」である。

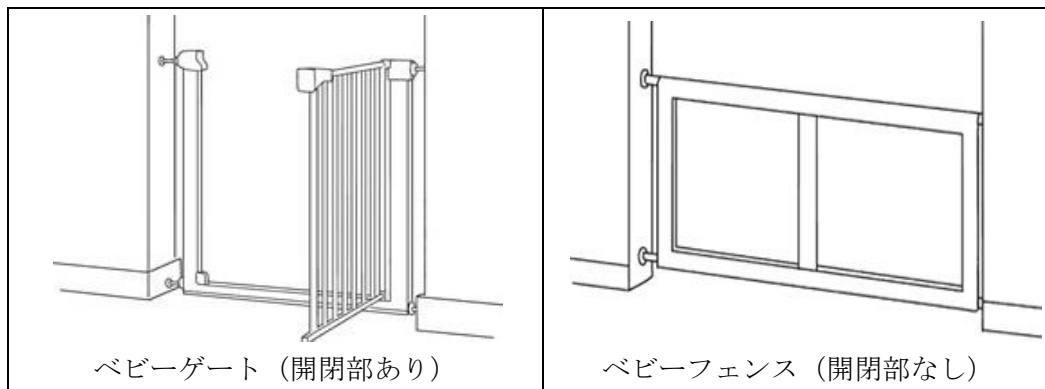


図2 ベビーゲート等の開閉部の有無

## (3) 開閉できる構造の形状

(2)のベビーゲートの開閉部の形状は、大きく3種類に分類される(図3)。①前後に開く扉がある「扉タイプ」、②布などを巻き取って開閉する「巻き取りタイプ」、③扉がじゃばらや格子状で伸縮して開閉する「伸縮タイプ」である。「扉タイプ」の製品が最も多いと思われる。

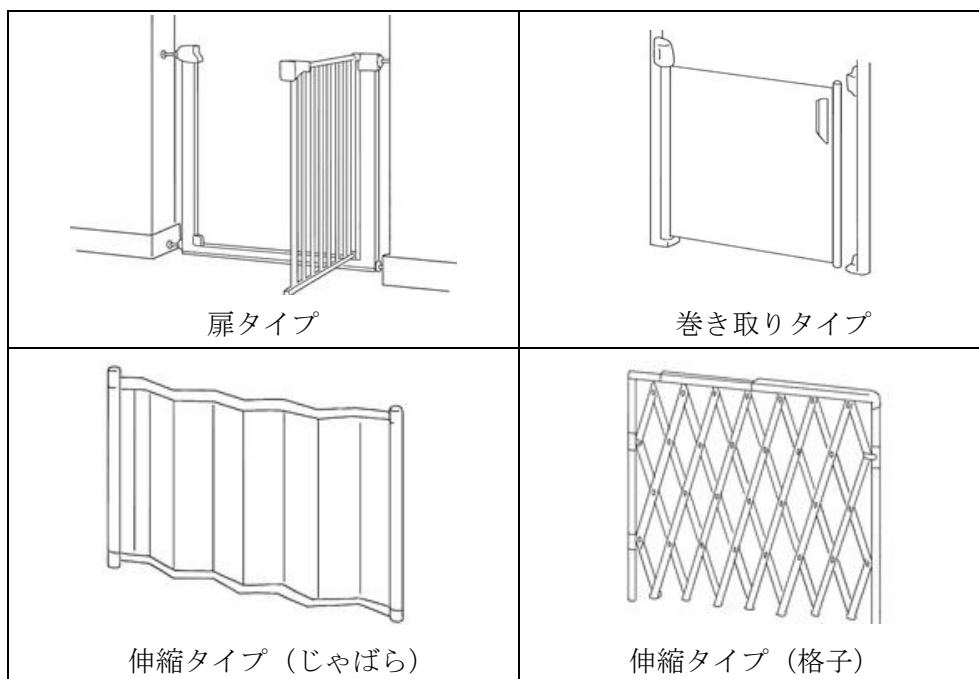


図3 ベビーゲート等の開閉部の形状 (開閉方法)

## 2 安全対策機能

ベビーゲート等には安全対策のために多様な機能が備わっている（図4）。

### （1）多重ロック機構

ベビーゲートには、開閉部にロック機構が備わっている。ロック機構には、シングル、ダブル、トリプルアクションの種類がある。「ダブル」や「トリプル」では、ベビーゲートを開ける際に、複数の動きを組み合わせた操作（「ロックカバーを開く＋ロックスイッチを切り替える」等）を要する（表1）。これにより乳幼児によって、容易に操作できない構造となり、保護者の意図に反するベビーゲートの通過を防止できる。

表1 ロック機構の例

アクション	種類
シングル	ロックスイッチを切り替える
ダブル	ロックスイッチを切り替える＋ロックカバーを開く
トリプル	ロックスイッチを切り替える＋ロックカバーを開く＋扉を持ち上げながら開閉する等

### （2）オートクローズ機能

扉タイプのベビーゲートが開いたままにならないよう、自動で扉が閉まる機能である。製品によって、自動で扉が閉まる角度が異なり、開いた角度に関わらず閉まる製品や、一定の角度以上開いて手を離すと閉まる製品もある。

### （3）つまずき防止スロープ

つっぱり式のベビーゲートは、扉の下にフレームがある。つまずき防止スロープは、扉を開けた時に通過する乳幼児や保護者がつまずいて転ばないように、フレーム部分に取り付けるスロープ形状のカバーである。

### （4）その他

（1）～（3）以外の安全対策機能の例を示す。

乳幼児が指を入れられないように使用しないボルト穴を塞ぐ、「指詰め防止用キャップ」、階段の転落防止対策として、ドアの開閉方向を両開きから片開きに制限する「片開き用ストッパー」がある。

また、「固定用カップ」等とよばれる、木ねじ等で柱等に固定する部品もある。これは、階段上などで、つっぱり式のベビーゲート等をより確実に固定するための、伸長するボルト等の受けとなる部品である。



(出典：株式会社日本育児 スマートゲイトIIプラス Web ページ)

URL：[http://www.nihonkuji.co.jp/item/smartgate2\\_plus.html](http://www.nihonkuji.co.jp/item/smartgate2_plus.html)

図4 ベビーゲートの安全対策機能の例

### 3 安全対策に関する表示

ベビーゲート等 20 製品の包装・製品本体・取扱説明書における、事故防止のための安全対策に関する表示内容を確認した。確認する製品の選定にあたっては、種別や機能に偏りが出ないように配慮した。

表 2 表示を確認したベビーゲート等の固定方法

固定方法	製品数
つっぱり式	12
ねじどめ式	8
計	20

表 3 表示を確認したベビーゲート等の安全対策機能 (製品数)

大項目	項目	扉	巻き取り	伸縮	開口なし (ベビーフェンス)
ロック機構	シングルロック	3	-	1	-
	ダブルロック	6	2	1	-
	トリプルロック	3	-	-	-
	なし	-	-	-	4
オートクローズ機能	あり	2	-	-	-
	あり (角度制限など条件付き)	5	-	-	-
	なし	5	2	2	4

(1) 設置に関する表示

設置場所や設置方法等に関する表示内容について整理したものを、表6に示す。

表6 設置に関する表示内容

(製品数)

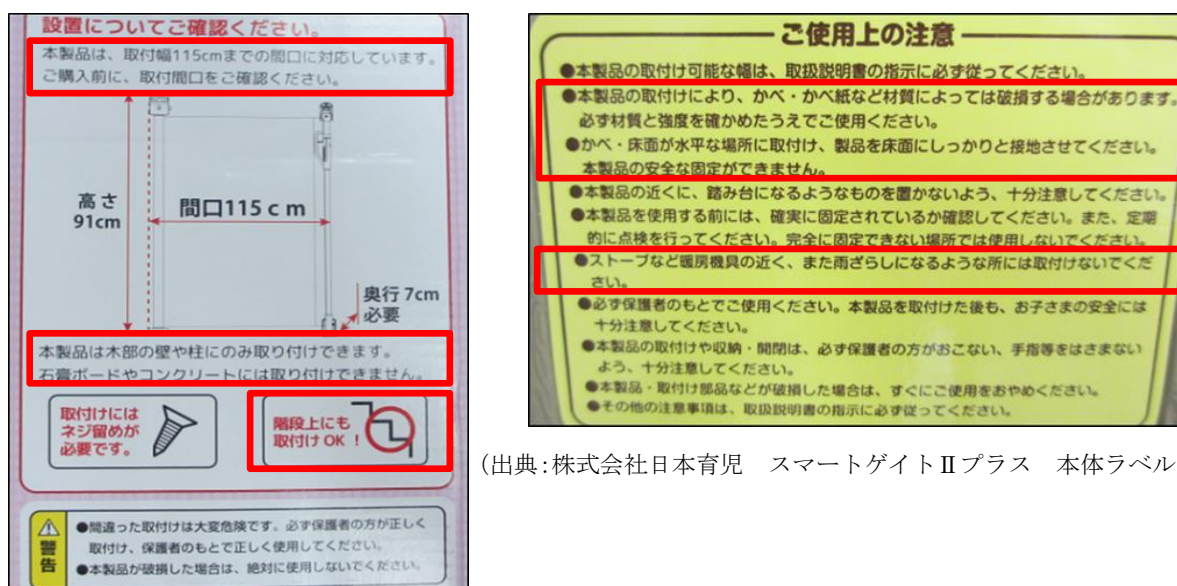
項目	記載内容	記載箇所			いずれかの表示 のある製品数
		包装	製品本体	取扱説明書	
設置場所	設置可能な幅	19	3	20	20
	壁の材質や棧（柱・心材）の有無 など、設置箇所の強度の確認	6	2	15	16
	階段上や段差上への設置禁止	7	4	12	12
	窓、窓枠（サッシ）への設置禁止	4	2	11	11
	壁（平行）、床面（水平）の条件	3	1	11	11
	暖房器具の近く、 水に濡れる箇所への設置禁止	1	2	12	12
	屋外への設置禁止	3	2	9	10
	階段の途中への設置禁止	0	0	7	7
	完全に固定できない場所、 他の家具など固定できないもの への設置禁止	0	0	5	5
	巾木のある壁における取り付け に関する注意	0	0	5	5
	非常階段への設置禁止	0	0	1	1
	直射日光のあたる場所への 設置禁止	0	0	1	1
設置方法/ 状態	床面に接地させる	0	1	6	6
	階下側に扉が開く設置禁止	1	0	4	5
	設置の床面からの高さ指定	2	0	3	4
	扉を閉じた状態で、 全てのロックピンが掛かるか	2	0	2	2
	開閉レバーやロックスイッチが 幼児側にならないよう設置する	1	0	1	2
	階段付近で、扉を開けると廊下を ふさぐような設置禁止	1	0	0	1

## ア 設置場所

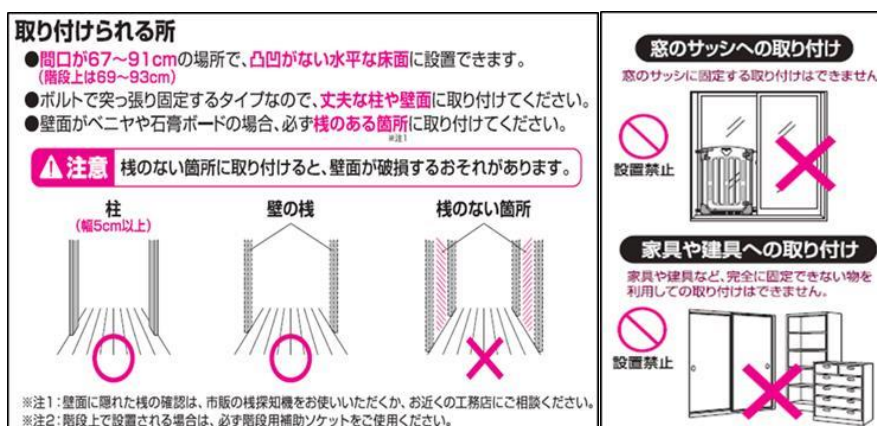
設置可能な幅については、すべての製品に何らかの表示があった。また、多くの製品には、床・壁が水平であることや壁の強度など、設置可能な場所の条件についても表示されていた。さらに階段上や窓枠、暖房器具の近くなど、製品の特性上、設置が望ましくない場所への設置を禁止する旨の表示も多かった。

一方で、階段上への設置が可能であると表示された製品もある。それらの製品は、ねじどめ式で固定するものが多い。これは、家庭内において階段が乳幼児の負傷するリスクの大きな場所であり、ベビーゲート等を設置しようとする保護者が多いと想定されることから、つっぱり式よりも確実に固定できるねじどめ式を採用することで安全性を確保したものと考えられる。

実際の製品に表示されている内容を図4に示す。



(出典：株式会社日本育児 スルする〜とゲイト 外箱)



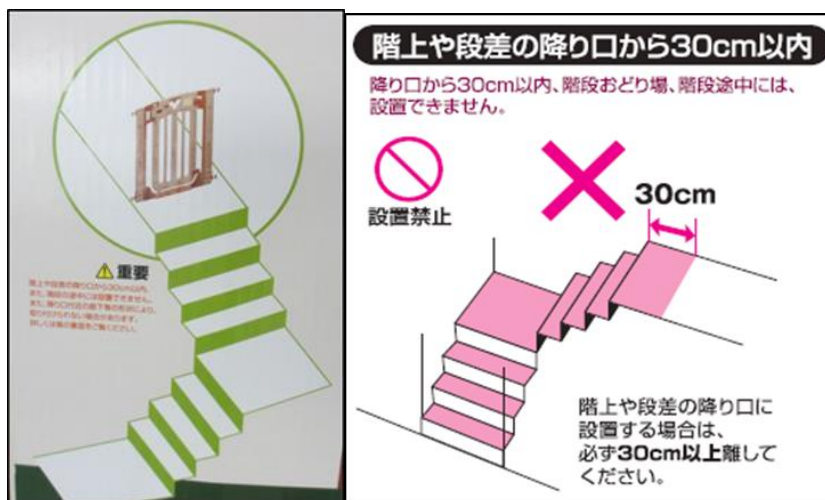
(出典：株式会社日本育児 スマートゲイトIIプラス 取扱説明書)

図4 設置場所に関する表示

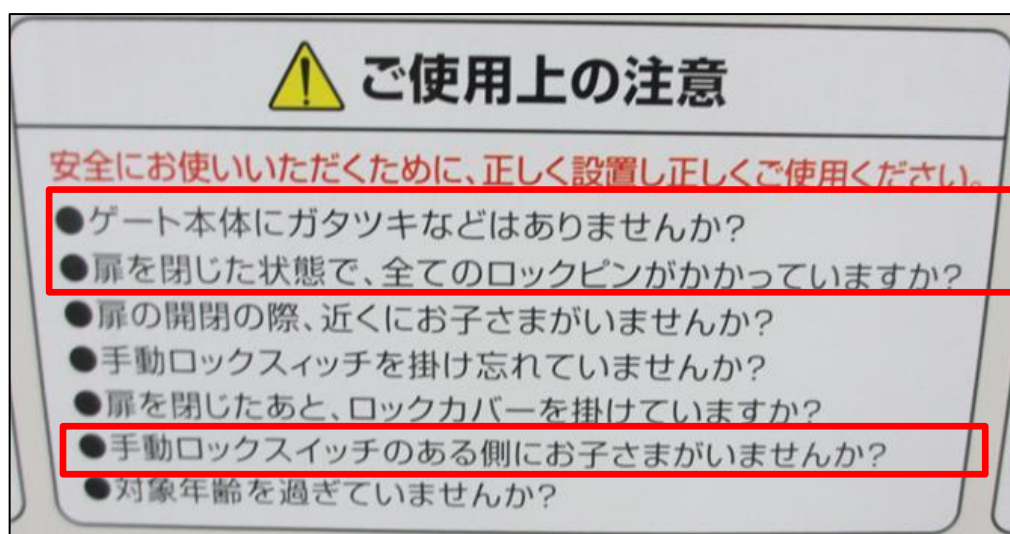
## イ 設置方法

ベビーゲート等の設置の向きや位置、設置後の状態など、注意すべき確認項目について表示されている。外箱や製品本体には設置方法に関する表示は少なく、設置時に内容を確認することが多い取扱説明書に記載されている製品が多い。

実際の製品に表示されている内容を図5に示す。



(出典：株式会社日本育児 スマートゲイトIIプラス 外箱および取扱説明書)



(出典：株式会社日本育児 スマートゲイトIIプラス 外箱)

図5 設置方法に関する表示の例

設置に関する記載は、文章とともにイラストで図示してある製品が多い。これはベビーゲート等の設置に関する注意事項が、位置関係や角度など文章だけでは伝わりづらい内容を含むことから、イラストを用いて視覚的に理解できるよう工夫していると考えられる。



(2) 使用方法に関する表示

ベビーゲート等の使用方法に関わる表示内容を整理した。表7に、記載が多かった代表的な表示内容を示す。

表7 使用に関する表示の記載状況

(製品数)

項目	記載内容	記載箇所			いずれかの表示のある製品数
		包装	製品本体	取扱説明書	
要実施の 行為	設置後も幼児の行動に注意すること	7	4	17	18
	使用時は施錠し、ロックがかかっているか確認すること	6	4	13	13
	定期的に設置状況を確認すること	4	3	16	16
	保護者の下で使用する	3	4	8	11
	設置、収納、扉の開閉は保護者が行うこと	3	3	11	11
	包装材（箱や袋）を幼児から遠ざけること（遊ばせないこと）	7	0	8	11
	製品により生じる隙間に手足をはさみこまないよう注意すること	2	3	8	10
	開閉の際、幼児が近くにいないこと	2	2	6	7
	小さな部品は幼児から遠ざけること	0	0	6	6
	下部のフレームに踏かないよう注意すること	0	1	3	3
禁止行為	本体や部品が紛失または破損した場合は使用しない	6	3	18	18
	以下の行為をしないこと。 製品に乗る（登る）、寄りかかる、ぶら下がる、下に入り込む、遊ぶ	2	3	14	14
	製品の近くに踏み台になるようなものを置かないこと	3	4	12	13
	幼児がベビーゲートを乗り越えたり、自身で開放可能になった場合には使用しないこと	5	2	11	11
	改造や修理、部品を代用しての使用はしない	1	3	5	5
	プールへの転落防止用として使用しない	3	2	3	3
	開閉時に体重をかけない	0	0	3	3
	幼児の制限体重、耐荷重	2	0	0	2
	ベビーゲートをまたぐことの禁止	0	0	2	2
	ベビーゲートに物を乗せたり、ひっかけたりしない	0	0	1	1

## ア 要実施の行為

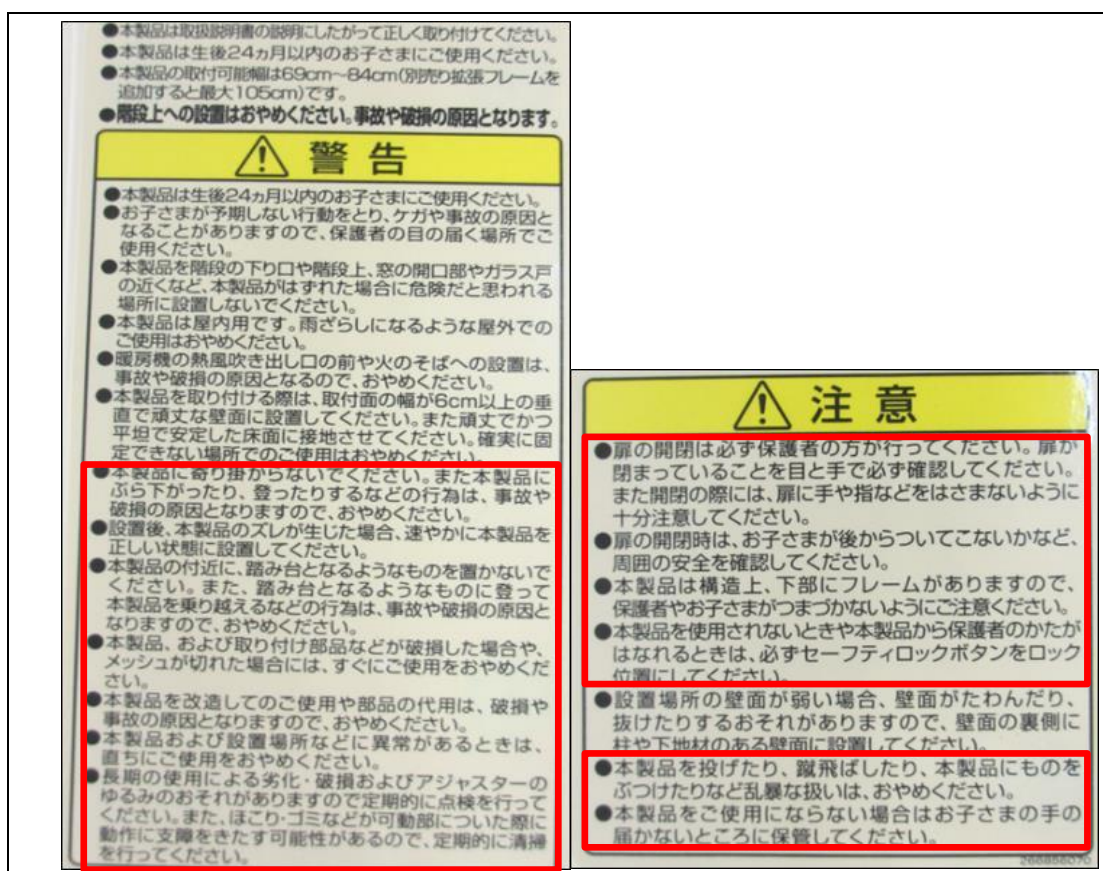
ベビーゲートを設置後も、定期的に（あるいは常に）設置状況を確認し、ぐらつき等の異常が見つかった場合には正しく設置しなおすよう表示されている。そして扉の開閉時には忘れずロックするよう表示されている。ベビーゲート等を設置しても乳幼児の様子を気に掛けて使用するよう表示している製品が多い。

## イ 禁止行為

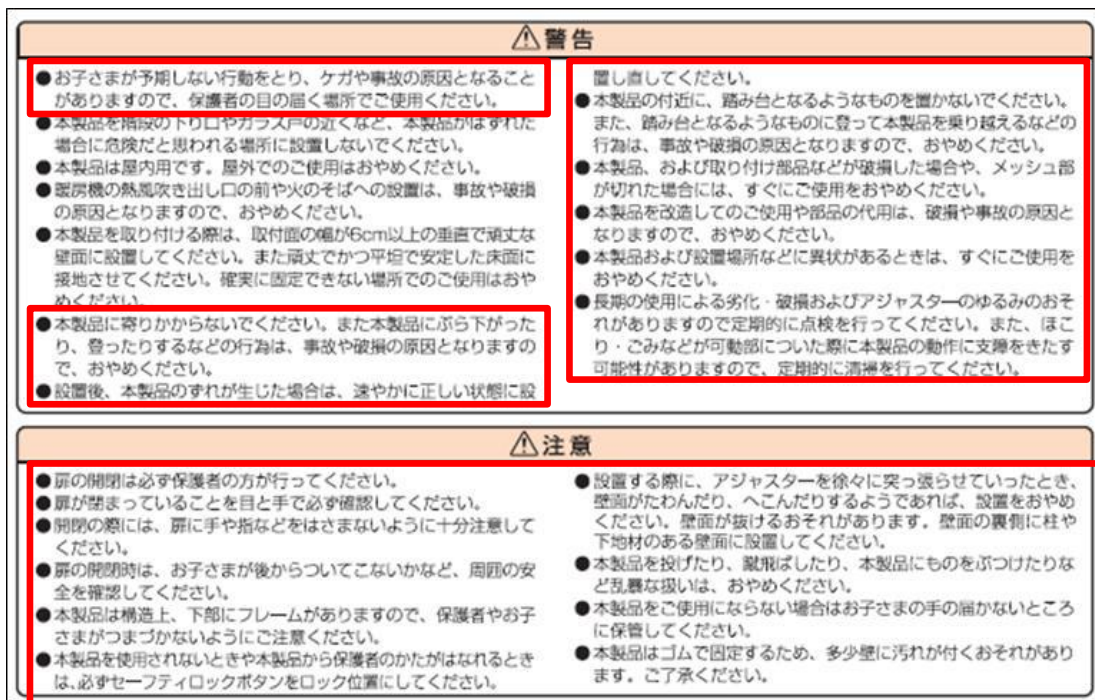
保護者に対しては、ベビーゲート等の近くに踏み台となるようなものを置かないこと、本体の破損や部品の紛失が起こった場合には使用しないよう求める表示が多い。

また、ベビーゲート等の多くは生後 6～24 か月の乳幼児を対象にしているが、対象年齢に関わらず乳幼児自身が乗り越えたり、扉を開けたりできるようになったら使用しないよう表示のある製品もある。

また乳幼児による禁止（危険）行為については、ベビーゲート等に乗る（登る）、寄りかかる、ぶら下がる、下に入り込むことや、またベビーゲート等で遊ぶことを禁じる製品が多い（図 6）。



(出典：コンビ株式会社 ハンズフリーゲート 製品ラベル)



(出典：コンビ株式会社 ハンズフリーゲート 取扱説明書)

図6 使用に関する表示の例

### (3) 表示の記載箇所について

各製品の包装（箱）、本体、取扱説明書の事故防止に関する表示を確認した。取扱説明書における記載が多いが、記載する内容により、表示の箇所には一定の傾向がみられる。

#### ア 設置場所

設置可能な幅や製品の寸法など、基本的な情報は包装（外箱）にも記載されている製品が非常に多い。しかし詳細な設置方法などに関しては、包装に記載のある製品は少ない。

また、製品本体における表示は全体的に少ないものの、設置禁止場所に関する表示内容が製品本体にも記載されている製品もある。

#### イ 使用方法

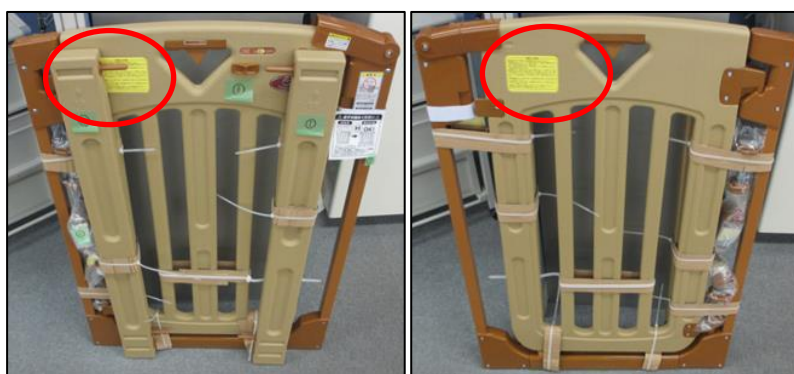
要実施の行為、禁止行為ともに、包装（外箱）や製品本体に記載のある製品が一定数確認された。設置場所に関する記載では、包装（外箱）と製品本体で記載数に差があったが、使用方法では差は小さかった。

#### (4) その他

ベビーゲート等は多くの企業から発売されているが、安全機能や全体の構造など、形状が酷似している製品も多い。その中で、本調査で確認された安全対策に関する表示の特徴的な取り組み例を示す。

##### ア 製品本体の両面の注意喚起ラベル

多くの製品は、製品本体の注意喚起のラベルは片側のみ貼付されている。しかし本調査では、両側にラベルのある1製品が確認された(図7)。どちら側からもラベルを目視できることにより、表記内容がより目に留まりやすいよう工夫したものと考えられる。



(出典：株式会社日本育児 スマートゲイトIIプラス 本体)

図7 ベビーゲート本体両面の表示

##### イ 設置確認用のチェックシート

2製品において、取扱説明書に設置状態が適切かどうかを確認するためのチェックシート欄が設けられていた(図8)。これは、ベビーゲート等の固定が外れたことによる事故が起きており、また、正しく取り付けられていることの確認が必要であることから、事故防止のための安全対策の取り組みの一環と考えられる。

ご使用前の安全点検	
<b>⚠重要</b> 必ずご使用前に、正しく取り付けられているか点検してください。	
ご使用前の安全点検	
	確認
ゲイトに、ガタツキはありませんか?	<input type="checkbox"/>
すべての取付けボルトに、ゆるみはありませんか?	<input type="checkbox"/>
ゲイト(パネル(ドア))を開じた状態で、すべてのロックピンがかかっていますか?	<input type="checkbox"/>
ゲイト本体が、壁面・床面にたいして直角になっていますか?	<input type="checkbox"/>
ゲイト本体は、床面に接するように取り付けられていますか?	<input type="checkbox"/>
<b>⚠警告</b> 点検を行ない、ひとつでも問題があれば、使用しないでください。もう一度取り付けをやりなおし、正しく取り付けしてからご使用ください。	

(出典：株式会社日本育児 スマートゲイトIIプラス 取扱説明書)

図8 設置確認チェックシート欄(取扱説明書)